

南海トラフ大地震到来が秒読み段階か!?

私は、平成 30 年 12 月議会、「石油コンビナートの防災について」一般質問しました。

YouTube

高石市議会

検索

ユーチューブにて「高石市議会」と検索していただければ 12 月議会の模様が見ることができます!

(インターネットを利用できる市民の皆様、ご覧いただければ幸いです。)



質問 → 答弁

木戸あきら

“南海トラフ大地震が来たら、石油コンビナートにある石油タンクの上から石油が溢れると大阪府は想定している。そして地震の後に押し寄せてくる津波であふれ出た石油が浜寺運河を渡って、高石市の一般地域にまで及ぶと、火災になるとこれも大阪府は想定している。それなのに高石市はいまだに一般住居地域に津波火災は及ばないと言うのか?”

行政担当



一般地域への類焼は想定していない。

副市長

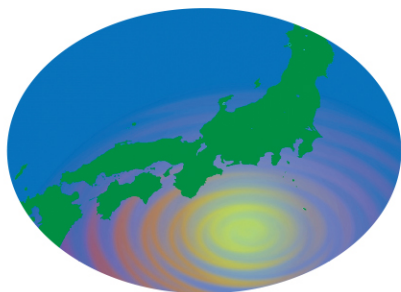


延焼範囲は確定していない。

阪口市長



十分に対策している。



津波火災は、一般火災とは異なり、火災のパワーは二乗化します。

東日本大震災の際津波で気仙沼市の 22 基の石油タンクが流出し、海上に漏れた石油は瓦礫とともに引火して、気仙沼市一般住居地域を焼きつくしました。

毎年 11 月に開催される総合避難訓練では、市民の皆様を市役所裏にある総合体育館カモン高石に避難誘導しています。同施設は津波による浸水区域外だから安全だという理由からです。しかし、それは海水を想定してのことで石油を想定していません。石油に引火して押し寄せてくれば、浸水区域外にあってもカモン高石に逃げていては危険です。「津波火災」を想定して総合避難訓練を含む地域

防災計画を見直すべきです。

12 月議会「石油コンビナート防災の勉強会を実施したことがあるのか?」と質問しましたが、市長は「防災シンポジウムでも言及している。」と答えられました。私はそのシンポジウムに出席していましたが市長は一切言及しておられません。また広報たかいしあるいは高石市役所ホームページにおいても市民に向けての石油コンビナート防災や津波火災に対する防災啓発は掲載されていません。従い、行政が情報提供をしないのなら、私が行政に代わって情報提供します。

第 5 回市民講座、中央公民館にぜひお越しください!

第5回市民講座



Shinichi
Aoki



Akira
Kido

スーパー台風と南海トラフ大地震にどう備えるか？

開催日時

1月26日 土

開場時間…15:40

開演予定…16:00

終了予定…17:30

開催場所

中央公民館
大集会室

加茂1丁目5-7
TEL.072-265-6422



講演者

大阪大学 大学院 教授 青木 伸一

高石市東羽衣在住。大阪大学大学院工学研究科卒、豊橋技術科学大学教授を経て現職。専攻は、海岸工学、沿岸防災、沿岸環境。国土交通省海岸委員会委員、土木学会海岸工学委員長、豊橋技術科学大学名誉教授を兼職。

高石市議会議員 木戸 晃

中央大学法学部法律学科卒、商社伊藤萬株式会社勤務を経て市議会議員に。平成23年高石市長選挙に出馬。平成27年度市議会議員に復職(3期目)。地域密着型特別養護老人ホーム及び小規模多機能型居宅介護施設 理事長を兼職。東日本大震災復興支援として企業とコラボしてコンテナハウスを寄付、現在も大船渡市でコミュニティーカフェとして運営中。